

1. 4 イワシ・サバ類

担当者 調査研究部 澤村 正幸

(1) 目的

道南海域におけるイワシ類（マイワシ，カタクチイワシ）及びサバ類（マサバ，ゴマサバ）について漁獲量及び体長組成についての調査を行い，資源管理対策を検討する際の基礎データとして用いるほか，報告・広報を通じて漁業経営に寄与する。

(2) 経過の概要

ア 漁獲統計調査

市場調査及び北海道水産現勢を基に，函館水産試験場の担当海域である檜山～日高管内を中心に，魚種別，地域別の漁獲量を集計し，漁獲の動向を調査した。

イ 生物測定調査

9月から11月にかけて森町及び鹿部町の定置網からマイワシ，カタクチイワシ及びサバ類の標本を採取し，生物測定を実施した。

(3) 得られた結果

ア 漁獲統計調査

函館水産試験場の担当海域である檜山～日高にかけての道南各管内と，釧路管内，及び全道の合計値について，それぞれの年間漁獲量を表1～3に示した。

マイワシの全道の漁獲量は，資源が高水準であった1980年代には年間100万トンを超える高い水準にあったが，1993年以降急減し，2000年以降は年間3,500トンから100トン未満の低い水準にある。渡島管内の漁獲量は，1985年に16.7万トンを示した後減少を続け，2002年以降は1,000トン未満の低い水準が続いている。ただし全道の漁獲量に占める渡島管内の割合は，資源が減少した1993年以降，ほとんどの年で80%から90%以上となっている。2012年の漁獲量は555.8トンで，2011年の3799.9トンから減少した。

カタクチイワシの全道の年間漁獲量は，1985年から1988年までは1千トン未満の低い水準にあったが1989年以降は一貫して1千トンを超え，特に1998年以降はほとんどの年で1万トンを超える高い水準にある。年間漁獲量が最も多いのは1997年までは渡島管内であったが，1998年から2006年にかけては釧路管内での漁獲量が最大となる年が多かった。渡島管内での漁獲量は，

1989年に前年比10倍以上の急激な伸びを示して以降，1994年を除き，約3千トンから1万トン以上の高い水

表1 マイワシの管内別・年別漁獲量

年/管内	(単位:t)					
	檜山	渡島	胆振	日高	釧路	全道計
1985	14.6	166,622.8	949.6	36.2	925,590.7	1,237,383.7
1986	1.5	78,276.1	186.8	24.4	920,174.9	1,175,498.7
1987	2.8	102,461.4	396.3	10.1	1,063,051.6	1,340,439.0
1988	18.4	98,020.9	396.4	43.3	1,031,377.3	1,303,370.3
1989	10.2	86,708.8	198.1	62.9	793,349.1	1,024,054.5
1990	1.5	31,408.1	69.6	86.4	875,273.7	1,005,257.5
1991	0.2	42,136.6	57.6	22.0	607,406.5	730,039.7
1992	4.5	31,018.2	242.3	32.5	123,452.4	186,601.0
1993	0.0	13,329.8	24.4	13.7	3,092.0	16,601.6
1994	1.3	19,738.1	33.1	3.9	783.0	20,592.3
1995	0	4,236.0	7.1	2.0	0.9	4,381.8
1996	0.4	5,713.7	15.7	1.7	0.1	5,736.6
1997	0.5	2,145.4	14.7	0	0.1	2,168.7
1998	0	7,192.6	27.0	0.7	56.0	12,917.9
1999	0	2,971.9	7.3	0.1	0.0	2,998.9
2000	0	748.7	3.2	0.0	0	771.0
2001	0	3,337.9	11.5	0.1	0.0	3,518.9
2002	1.3	851.0	10.0	0.3	0.4	1,489.7
2003	0	351.0	3.0	0.8	0	427.3
2004	1.6	280.6	6.9	0.1	0.0	291.4
2005	0	75.2	13.1	0.0	0	89.0
2006	0	465.6	6.4	0.2	0.4	474.0
2007	0.3	279.5	2.0	0	7.1	294.5
2008	0.0	82.9	2.6	0.1	0.0	96.3
2009	0	254.9	0.9	0.2	1.9	261.9
2010	0	515.4	0.9	0.0	0.0	518.7
2011	0	3,799.9	1.7	1.3	1.2	3,868.2
2012	0.1	555.8	0.6	2.4	56.3	650.9

資料：水産現勢・水試速報値による1～12月の集計値。2012年は暫定値。0は漁獲なし。0.0は漁獲量0.05トン未満。

表2 カタクチイワシの管内別・年別漁獲量

年/管内	(単位:t)					
	檜山	渡島	胆振	日高	釧路	全道計
1985	0	23.6	465.2	0.1	0	852.1
1986	0	28.8	253.2	32.7	0	803.6
1987	0	94.0	179.4	2.7	2.7	327.8
1988	0	68.5	235.3	23.5	0	336.9
1989	0	725.3	381.6	2.0	0	1,110.1
1990	0	3,894.7	170.0	7.0	210.0	4,283.0
1991	1.4	3,091.5	34.2	20.5	0.3	3,150.0
1992	0	2,881.6	56.2	8.1	0	2,955.6
1993	0	6,843.3	20.6	0.2	0	6,864.8
1994	0	998.1	23.4	0.1	0	1,022.2
1995	0.1	5,295.4	10.2	0	0	5,393.4
1996	0	3,769.1	14.5	0.0	0	3,784.0
1997	0	9,245.8	1.9	0.2	0	9,257.3
1998	0	8,030.8	288.5	0.3	23,896.6	32,244.9
1999	0	10,984.3	3.1	0.1	12,685.0	23,940.3
2000	0	3,312.5	4.9	0.1	0	3,326.7
2001	0	4,087.9	1.3	0	52.6	4,145.4
2002	0	15,012.0	7.4	0.1	25,068.7	45,218.4
2003	0	10,450.0	5.5	0.0	23,001.3	56,678.4
2004	0	8,226.1	15.7	0	32,064.4	64,335.5
2005	0	4,259.4	15.4	0	2,281.0	6,663.1
2006	0	11,700.4	7.2	0	16,111.3	46,016.0
2007	0	9,920.5	12.0	0	371.7	10,396.9
2008	0	6,341.5	9.9	0.2	681.4	7,073.8
2009	0	14,854.2	3.4	0.0	7,138.4	24,974.4
2010	0	22,911.1	3.8	0	14,741.3	44,616.7
2011	0	6,535.0	6.6	0	3,730.1	11,957.3
2012	0	13,511.9	4.5	0.0	3,161.5	22,079.5

資料：水産現勢・水試速報値による1～12月の集計値。2012年は暫定値。0は漁獲なし。0.0は漁獲量0.05トン未満。

準が続いている。2012年の漁獲量は13,511.9トンで、2011年の6,535.0トンから増加した。

サバ類の全道の年間漁獲量は、1985年から1991年までは1千トン未満であったが、1992年以降は変動しながらもおおむね1千トンから2万トン以上の比較的高い水準で推移している。1992年以降はほとんどの年で渡島管内の漁獲量が全道の60%から90%以上を占めていたが、2012年は釧路沖に巻き網の漁場が形成されたことにより、釧路管内の漁獲量が全道の78%を占めた。渡島管内の2012年の漁獲量は604.5トンで、2011年の234.0トンから増加した。

これら3魚種とも、道南太平洋海域での漁獲は渡島沿岸の定置網によるものが大部分を占め、檜山、胆振、日高の各管内での漁獲は少ない。

イ 生物測定調査

生物測定調査により得られた体長組成を図1～3に示した。なお、マイワシとカタクチイワシは被鱗体長(0.5cm幅)、サバ類はマサバとゴマサバそれぞれについて尾叉長(1cm幅)での体長組成である。

マイワシでは、被鱗体長の範囲は14.0～20.5cmの範囲にあり、体長組成は17.0cmに主モード、18.0cmに副モードを持つ2峰型であった。

カタクチイワシでは、被鱗体長の範囲は10.5～13.0cmにあり、体長組成は11.5cmにモードを持つ単峰型であった。

サバ類では測定を行った79尾のうち76尾がマサバ、3尾がゴマサバであった。マサバの尾叉長の範囲は1%～28cmにあり、モードは23cmであった。ゴマサバ3尾の尾叉長は22, 23, 25cmであった。

表3 サバ類の管内別・年別漁獲量

年/管内	檜山	渡島	胆振	日高	釧路	全道計
1985	11.3	423.4	15.3	3.3	22.8	906.2
1986	15.7	261.0	5.7	8.8	24.6	599.8
1987	14.4	127.7	17.5	10.3	45.3	619.8
1988	33.8	277.7	4.9	7.8	18.2	644.5
1989	15.5	112.3	14.4	2.3	18.2	588.7
1990	1.9	129.3	0.8	0.8	2.3	294.1
1991	10.4	111.4	0.5	3.7	0.1	268.7
1992	14.2	10,758.1	66.1	0.1	0.0	11,183.3
1993	8.3	3,843.0	5.0	3.3	1,654.1	5,957.4
1994	3.7	5,478.9	26.0	1.7	0	6,487.7
1995	4.8	10,170.8	11.5	0.8	0	10,920.3
1996	4.5	4,885.7	10.6	0.0	0	5,240.2
1997	22.0	574.9	8.5	3.9	18.0	1,287.5
1998	1.2	2,068.8	7.1	3.0	0.0	2,147.2
1999	7.2	21,036.3	10.0	11.7	1.1	21,529.4
2000	2.2	2,550.8	7.3	0.3	0.3	3,073.6
2001	0.9	714.3	0.5	0.4	0.0	973.7
2002	1.0	795.0	0.3	0	0	923.5
2003	0.1	7,118.1	1.7	0.2	0.0	7,138.6
2004	0.1	4,754.5	3.5	0.0	0	4,775.4
2005	0.4	4,190.8	1.0	0.0	3,363.7	8,041.2
2006	0.0	197.2	0.2	5.9	1,688.3	2,539.0
2007	0.1	6,540.4	0.2	8.4	794.6	7,400.5
2008	1.3	2,212.9	4.6	3.2	0.2	2,271.8
2009	0.1	116.8	0.0	0.0	0.0	144.4
2010	0.1	5,013.1	11.6	2.9	259.6	5,337.1
2011	1.3	234.0	2.4	0.1	40.5	310.2
2012	0.2	604.5	5.5	48.6	2,416.3	3,116.0

資料：水産現勢・水試速報値Iによる1～12月の集計値。2012年は暫定値。0は漁獲なし。0.0は漁獲量0.05トン未満。

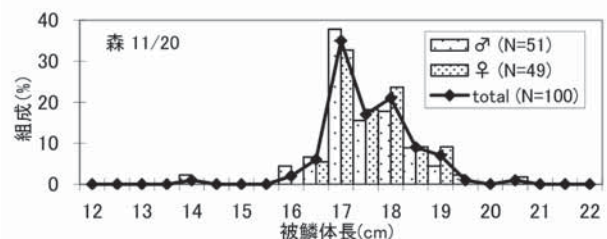


図1 2012年漁獲物調査でのマイワシの体長組成

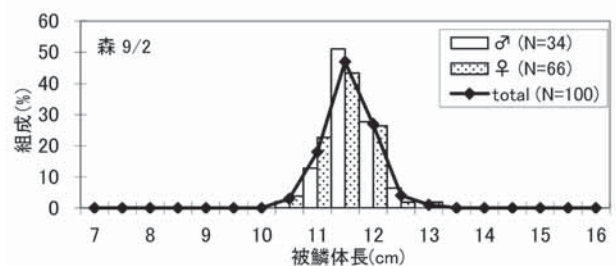


図2 2012年漁獲物調査でのカタクチイワシの体長組成

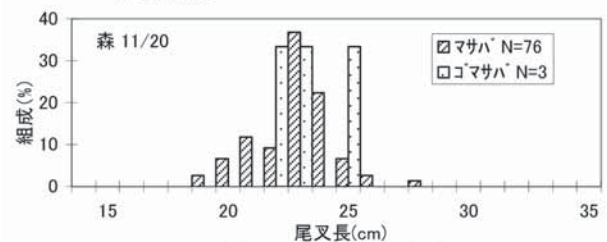


図3 2012年漁獲物調査でのサバ類の体長組成